

Google Workspace DNSセットアップガイド

1.1版

2022年3月24日
NTTコミュニケーションズ株式会社

DNSサービス セットアップガイド改版履歴

セットアップガイド1.1版	
2018.2.1	新規作成
2022.3.24	2、2-1 多要素認証でのログイン方式に更新

目次

はじめに	P. 3
サービス概要	P. 4
1. セットアップ概要	P. 5
1-1. 「開通案内」について	P. 5
1-2. セットアップの流れ	P. 6
2. ゾーンファイル編集・登録	P. 7
2-1. コントロールパネルへのログインについて	P. 8
2-2. ゾーンファイル全体の編集	P. 10
2-2-1. ゾーンファイルのダウンロード	10
2-2-2. ゾーンファイルの作成について	12
2-2-3. ゾーンファイル作成時の注意点	17
2-2-4. ゾーンファイルのアップロード	18
2-2-5. チェック項目と制限事項	20
2-3. コントロールパネル上でのレコード単位の編集	P. 21
2-3-1. レコード編集画面起動	21
2-3-2. レコード編集機能	21
2-4. コントロールパネル上の編集時の注意点	P. 24

はじめに

本「セットアップガイド」は、DNSサービスを利用いただくための代表的な設定方法の一例をご紹介します。

なお、各種設定等については、お客様の責任において変更をしていただくこととなりますので、セットアップガイドに記載されている設定以外のサーバ設定変更等のご質問についてはサポート致しかねます。あらかじめご了承ください。

ご注意事項

※本セットアップガイドで紹介する設定例については、あくまで参考として掲載しております。お客様のご利用形態によって設定内容も異なりますので、詳細についてはお客様システム管理者にお問い合わせのうえ、お客様の責任において実施していただく必要があります。

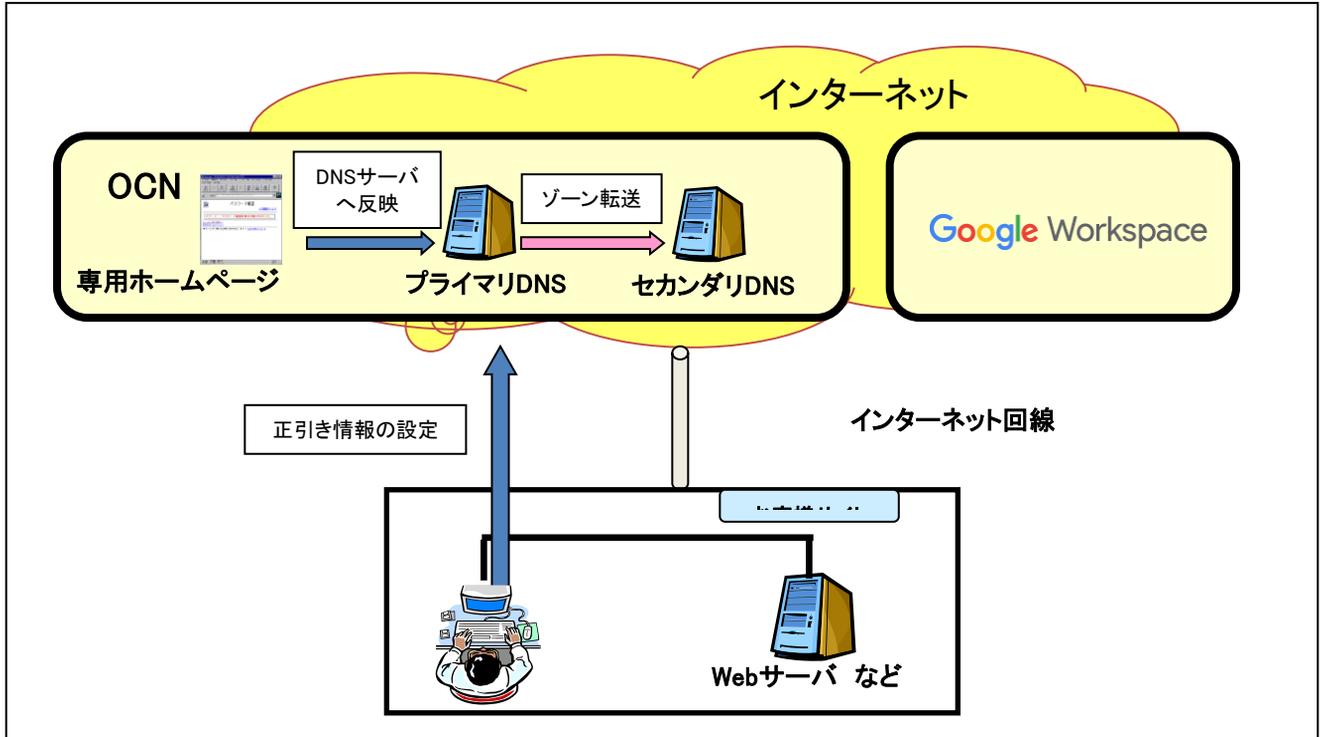
※お客様自身の設定方法によっては動作しない場合やトラブルとなる可能性があります。その際も本オプションでは一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

サービス概要

本サービスは、以下のDNS機能を提供します。

■ Google Workspace 『DNSサービス』

プライマリDNSとセカンダリDNSの2つの機能を提供します。
 プライマリDNSへの正引き情報の設定は、専用ホームページ(コントロールパネル)よりお客様にて設定していただくことができます。
 本サービスはOCNのDNSサービスを利用いたします。



1. セットアップ概要

1-1. 「開通案内」について

■ 開通案内

Google Workspaceオプション『DNSサービス』をご利用になる場合、DNSサービスの「開通案内」に必要情報を記載し、送付いたします。下記を参照しながら、本セットアップガイドに従って、各種設定を実施してください。

認証ID	「2.ゾーンファイル編集・登録」で利用
認証パスワード	「2.ゾーンファイル編集・登録」で利用

※コントロールパネルへのアクセス時に利用いただく認証ID、認証パスワードになります。
パスワードの初期化はNTTコミュニケーションズヘルプデスクまでご申請ください。

ゾーン名	「2.ゾーンファイル編集・登録」で利用
------	---------------------

※お客さま編集可能なゾーン名を表示しております。
コントロールパネルへアクセス時に利用いただけます。

【登録DNS】

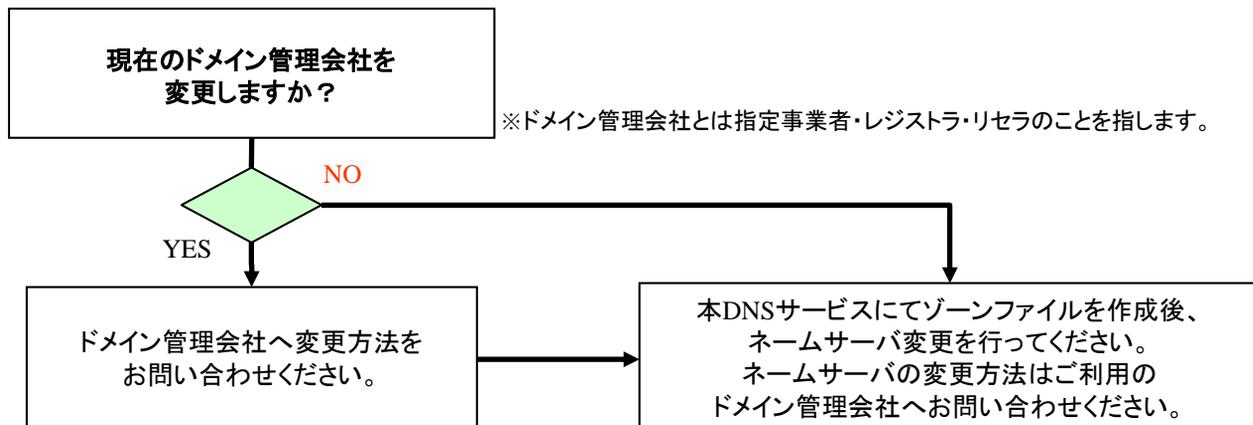
プライマリDNSサーバ名	「1-2. セットアップの流れ 手順①」で利用
セカンダリDNSサーバ名	「1-2. セットアップの流れ 手順①」で利用

※お客さまにご利用いただくDNSサーバ名です。
指定事業者変更やネームサーバ変更時にご参照いただきます。

1-2. セットアップの流れ

手順① ドメイン情報(ネームサーバ、ドメイン管理会社)の変更

以下のフローチャートを参照し、お客様にあった変更を実施してください。



お客様ご利用のドメイン名の「ネームサーバ情報」変更を実施される際に、「1-1. 開通案内」で指定している「プライマリDNSサーバ名」「セカンダリDNSサーバ名」へ設定変更依頼していただく必要があります。



注意

本DNSをご利用になることで、現在ご利用中のドメイン管理会社を継続してご利用いただけない場合がございますので、事前にご確認をお願いいたします。
ドメイン管理会社の変更を行う場合は、2週間程度かかる場合がありますのでご注意ください。
ネームサーバの変更依頼は、手順②でゾーンファイル登録後に、実施ください。

手順② ゾーンファイル作成・登録

DNSサーバをご利用いただくために、ゾーンファイルと呼ばれるDNSサーバ登録用ファイルをお客様ご利用の環境にあわせ作成し、登録を実施します。ゾーンファイルの登録には、コントロールパネルと呼ばれるお客様専用WEBより登録を行います。コントロールパネルにログインするためには、「1-1. 開通案内」でご案内する「認証ID」「認証パスワード」で実施します。



注意

DNSサービスではサービス開通後、お客様がゾーンファイルの編集を行う必要があります。お客様で編集を行うまでは名前解決が正常に行われず、通信できない可能性があるため、開通日には速やかにゾーンファイルを編集してください。
特に既存のドメインまたはサブドメインを本DNSサービスに移行する場合にはご注意ください。

手順③ DNSサービス開通確認



DNSの開通確認は、ネームサーバの変更完了後実施してください。

2. ゾーンファイル編集・登録

DNSサービスをお客様環境にてご利用いただくに当たり、ゾーンファイルの編集・登録を実施していただく必要があります。(開通日よりご利用になれます)

ゾーンファイルの登録は、コントロールパネルと呼ぶ専用のWEBで実施します。

コントロールパネルへは、以下ホームページよりアクセスすることができます。

<https://nwp.ntt.com/dnshosting>

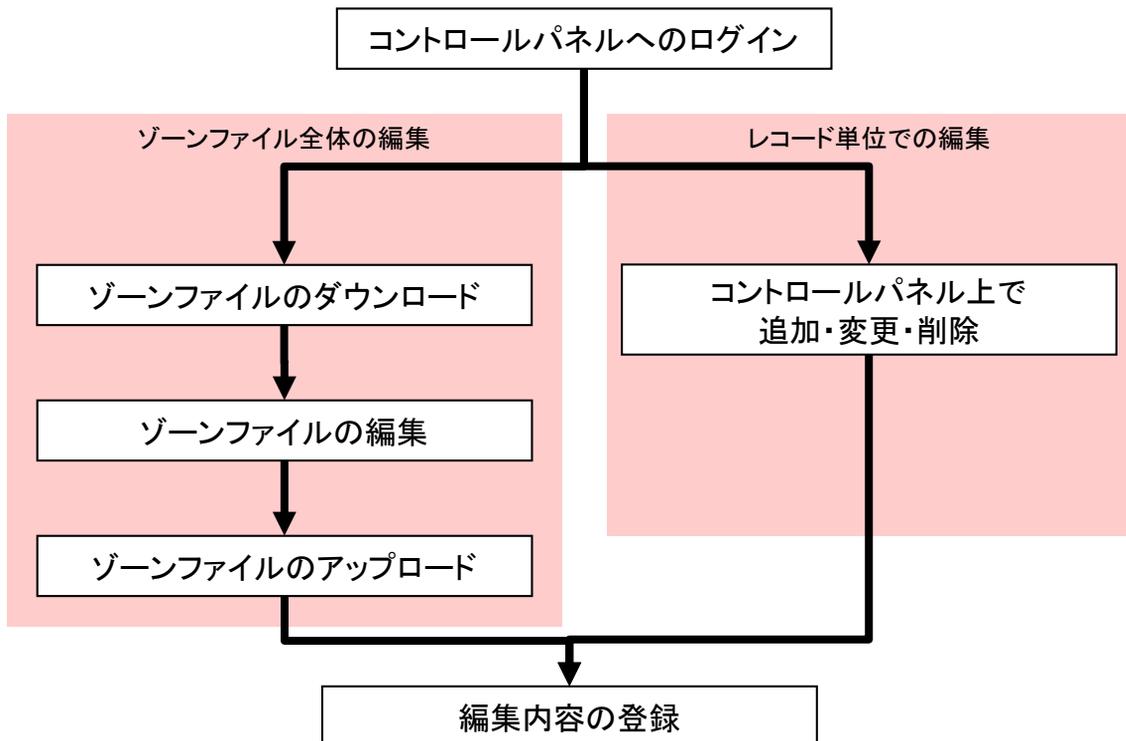


コントロールパネルへアクセスするための「認証ID」「認証パスワード」は、**1-1.「開通案内」**にてご確認ください。



DNSサービスのコントロールパネル使用にあたっての推奨ブラウザは、EdgeまたはFireFox、Google Chrome となります。その他のブラウザ(Opera等)はゾーンファイルのアップロード設定において不具合が発生することが確認されておりますのでご注意願います。

ゾーンファイル登録までのフローは、ゾーンファイル全体を編集する方法とコントロールパネル上でレコード単位に編集する方法の2通りがあります。

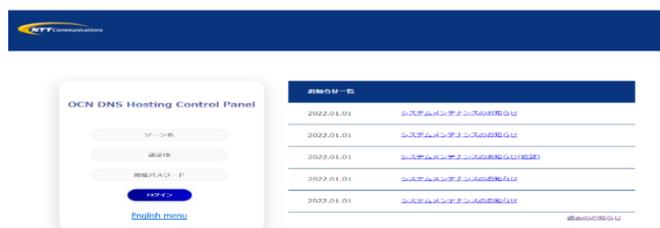


新規登録の場合やゾーンファイルの変更登録の場合も、同様の手順となります。

2-1. コントロールパネルへのログインについて

(1)コントロールパネルへのログイン方法について

前頁アドレスよりコントロールパネルへアクセスすると、以下の画面が表示されます。



- ① **1-1.「開通案内」**に記載されている、「ゾーン名」「認証ID」*1「パスワード」*1 を入力してください。

- ② 「ログイン」をクリックします。



- ③ 登録するメールアドレスを入力し、「登録」をクリックします。

※メールアドレス登録については初回登録時のみ行うものとなります。



- ④ ③で入力したメールアドレスにワンタイムパスワードが送信されますので、こちらの内容を確認します。

- ⑤ ④で確認したワンタイムパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

※コントロールパネル表示後、60分経過するとセッションが切れます。



*1 コントロールパネル編集用の「認証ID」「パスワード」は、ドメイン毎に、「認証ID」「パスワード」を付与させていただきます。ログインするための情報は、「ゾーン名(ドメイン名)」「認証ID」「パスワード」となります。



認証ID/パスワードを紛失された場合は、「認証ID/パスワードの確認・変更」(<http://www.ocn.ne.jp/business/order/change/pwd/index2.html>)より手続きをお願い致します。

(2)DNS機能 設定メニュー

DNS機能 設定メニュー

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 21 16:06

ゾーンファイルの内容					
\$TTL	86400				
@		IN	SOA	drx2s8-01.toc.	root.CSRF.ad.jp.
10					(
10800					
3600					
604800					
86400					
)					
		IN	NS	drx2s8-01.toc.	
		IN	NS	w-s.toc.	
		IN	NS	1.1.1.1	

- ①前画面で登録したゾーン名が表示されます。

2 **レコード編集** 画面上でレコードを追加・編集・削除します。

3 **アップロード** CSV形式で作成されたゾーンファイルをアップロードします。

ダウンロード ゾーンファイルをCSV形式でダウンロードします。

4 **ロック解除** ファイル編集中にウィンドウ画面を閉じてしまう事で、上記の掛

- ②画面上でレコードを個別に追加・編集・削除したい場合は「レコード編集」ボタンをクリックします

2-3へ

- ③ゾーンファイル全体を登録/変更する場合は、「アップロード」ボタンをクリックします。

2-2-4へ

- ④登録されているゾーンファイルを取得する場合は、「ダウンロード」ボタンをクリックします。

2-2-1へ

2-2. ゾーンファイル全体の編集

2-2-1. ゾーンファイルのダウンロード

(1) ゾーンファイルのダウンロード

「ダウンロード」ボタンをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ウィンドウが表示されます。



①「開く」ボタンを選択すると、csvファイルが開き、現在のゾーンファイルを参照することができます。

②「保存」ボタンを選択すると、現状プライマリDNSサーバに登録されているゾーンファイルをお客様パソコン上に保存することができます。

① 登録データ参照

zone.csv (例)

	A	B	C	D	E	F
1	\$TTL		86400			
2	@		IN	SOA	ns6-tk01.ocn.ad.jp	root.ocn.ad.jp
3						
4		10800				
5		3600				
6		604800				
7		86400				
8)					
9			IN	NS	ns6-tk01.ocn.ad.jp	
10			IN	NS	ns6-tk02.ocn.ad.jp	
11						

② 登録データ保存



(2) ダウンロードデータについて

ダウンロードされたデータは「csv形式」のファイルです。

■ はじめてダウンロードした場合

ダウンロードしたゾーンファイルは、レコード①は、初期値が記述されております。

※レコード①の必要箇所を編集いただけます。

またレコード②は、お客様のご利用環境により自由に編集いただけます。

■ ゾーンファイルを一度でも登録したことがある場合

ゾーンファイルは、前回登録したレコード①②がダウンロードされます。

zone.csv (例)

	A	B	C	D	E	F	G
1	\$TTL		86400				
2	@		IN	SOA	ns6-tk01.ocn.ad.jp	root.ocn.ad.jp	(
3							
4		10800					
5		3600					
6		604800					
7		86400					
8)						
9			IN	NS	ns6-tk01.ocn.ad.jp		
10			IN	NS	ns6-tk02.ocn.ad.jp		
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							

レコード①

レコード②

2-2-2. ゾーンファイルの作成について

「2-2-1. ゾーンファイルのダウンロード」で保存したCSVファイルを開き、ゾーンファイルを作成します。各レコードの記述方法の説明とプライマリDNSでの各リソースレコードの編集の可否を説明します。



作成したゾーンファイルは、必ずCSV形式で保存してください。

(1)レコードについて

編集できるレコード種別は以下のとおりです。

■ 正引き

レコード名	説明	記述の可否
SOA (Start Of Authority)	ゾーンの始まりを示すレコード	△ (一部不可)
NS (Name Server)	指定されたドメインにおいてサービスを提供するホスト(ネームサーバ)を指定するレコード	○
A (Address)	ホストのIPアドレスを記述するレコード	○
CNAME (Canonical NAME)	ホストの別名を定義するレコード	○
MX (Mail eXchange)	メールの配送方法を指定するレコード	○
TXT	任意の文字列を記述するレコード	○
SRV (SeRVice)	提供されているサービスを示すレコード	○
AAAA	IPv6でホストのIPアドレスを記述するレコード	○
A6	IPv6の新しい仕様を使用する為の正引きレコード	○

※その他のレコードに関して、記述した場合、動作保証はいたしません。

(2)SOALレコード

OCNのプライマリDNSを利用の場合、SOALレコードは開通時にはOCN側であらかじめ設定します。
SOALレコードについては全ての項目を自由に編集することはできません。

項目により下記のような設定内容の制限を設けています。

```
①name [ttl] IN SOA ②origin ③person (
                        ④serial
                        ⑤refresh
                        ⑥retry
                        ⑦expire
                        ⑧minimum
                    )
```

項目	説明	編集の可否
①name	ドメイン名を指定します。 初期設定値:@	×
②origin	プライマリDNSサーバを指定します。 初期設定値:お申込のDNSサーバ名	×
③person	DNS管理者のメールアドレスを指定します。 初期設定値:root.ocn.ad.jp ← 変更推奨(注1)	○
④serial	ゾーンファイルのバージョン番号 初期設定値:1	△ (4,294,967,295以下)
⑤refresh	セカンダリサーバのプライマリサーバへのポーリング間隔を指定します。 初期設定値:10,800(秒) ←3時間	△ (60以上、604,800以下)
⑥retry	セカンダリサーバのポーリングに失敗した際のリトライ間隔を指定します。 初期設定値:3,600(秒) ←1時間	△ (60以上、3,600以下)
⑦expire	セカンダリサーバのゾーン情報有効期限を指定します。 初期設定値:604,800(秒) ←1週間	△ (3,600以上、2,592,000以下)
⑧minimum	ネガティブキャッシュのTTL値を指定します。 初期設定値:86,400(秒) ←1日	△ (300以上、604,800以下)

※注1: 初期設定値のままではOCNへメールが来ても対応はいたしません。

※TTLについては制限があり、⑧minimumと同じく300以上、604800以下となります。

(3) NSレコード

NSレコードは開通時には2レコードのみあらかじめ設定します。
NSレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
NSレコードは複数記述できます。

①domain [ttl] IN NS ②server

項目	説明	編集の可否
①domain	ドメイン名を指定します。 初期設定値:(空白)	○
②server	ネームサーバを指定します。 初期設定値:OCN DNSサーバ名	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

(4) Aレコード

AレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
Aレコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN A ②address

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②address	IPアドレスを指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です

(5) CNAMEレコード

CNAMEレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
CNAMEレコードは複数記述できます。

①nickname [ttl] IN CNAME ②host

項目	説明	編集の可否
①nickname	ホスト名の別名を指定します。	○
②host	ホスト名の正式な名前を指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

(6)MXレコード

MXレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
MXレコードは複数記述できます。

①domain [ttl] IN MX ②preference ③server

項目	説明	編集の可否
①domain	メールのドメイン部分(電子メールアドレスの@以降)を指定します。	○
②preference	優先順位を示す整数値を指定します。	○
③server	メールを転送するホストを指定します。 ホストの本名を指定してください。別名(CNAME)は不可となります。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

(7)TXTレコード

TXTレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
TXTレコードは複数記述できます。

①domain or hostname [ttl] IN TXT ②text

項目	説明	編集の可否
①domain or hostname	ドメインもしくはホスト名を指定します。	○
②text	任意の文字列(512文字まで、「“」、「<」、「>」、「&」、「,」や「改行」を除く)を記述できます。 また、TXTレコードは通常ダブルクォーテーション(”)で囲む必要がありますが、CSVファイルに記述する際は、ダブルクォーテーションで囲む必要はありません。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

(8)SRVレコード

SRVレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
SRVレコードは複数記述できます。

①_service._protocol [ttl] IN SRV ②Priority ③Weight ④Port ⑤Target

項目	説明	編集の可否
①service、 protocol	サービス名、プロトコル名を指定します。 ※サービスの別名の前に「_」(アンダーバー)を付け、使用するプロトコルの前にも「_」(アンダーバー)を付けたものを「_」(ドット)で連ねます。 例) サービス:ftp、プロトコル:tcpの場合 _ftp_tcp	○
②Priority	優先順位を示す整数値を指定します。	○
③Weight	負荷分散を示す正数値を指定します。	○
④Port	サービスを提供するPort番号を指定します。	○
⑤Target	サービスを提供するホスト名を指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

※office365用には以下の2つのSRVレコードを作成します。
(設定例)

```
_sip_tls IN SRV 100 1 443 sipdir.online.lync.com.
_sipfederationtls_tcp IN SRV 100 1 5061 sipfed.online.lync.com.
```

(9)AAAAレコード

AAAAレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
AAAAレコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN AAAA ②address

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②address	IPv6のIPアドレスを指定します。	○

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。

(10) A6レコード

A6レコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
A6レコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN A6 ②prefixlength ③address ④prefix

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②prefixlength	プレフィックス長を指定します。	○
③address	IPv6アドレスを指定します。	○
④prefix	プレフィックス名を指定します。	○

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。

2-2-3. ゾーンファイル作成時の注意点

(1) ゾーンファイルのレコード編集時の注意

以下の点に注意しつつゾーンファイルをお客様のご利用環境に合うよう作成してお申し込みください。

TTL値を大きくしすぎると、他のDNSへの反映が遅れることも。1日(86400)が適度。	\$TTL 86400
お客様管理者のメールアドレスを記入していただくことを推奨します。 Postmaster@user.domain の場合 ↓ Postmaster.user.domain. となります。	@ IN SOA ns6-tk01.ocn.ad.jp. Postmaster.user.domain. (
ゾーンファイルの変更登録ごとにシリアル番号を増加させる必要があります。 ※お客様の「本サービス開通日+1」以上の数字を必ず記述ください。 ※初期値: 1	10800 3600 604800 86400)
必ず「.(ドット)」をつけて下さい。	IN NS ns6-tk01.ocn.ad.jp. IN NS ns6-tk02.ocn.ad.jp.
お客様の環境により作成。	user.domain. IN MX 10 mail1.user.domain. user.domain. IN MX 20 mail2.user.domain. GW IN A 192.168.10.33 mail1 IN A 192.168.10.34 www IN CNAME mail1 mail2 IN A 192.168.10.35 mail3 IN A 192.168.10.36

500行まで

(2) レコード記述上の注意

- ① CSVファイルにおいて、SOA、NSのレコードの位置は変更しないでください。
リソースレコードを追加編集する場合は、9,10行目のNSレコードより下の行にて追加をしてください。
- ② 各レコードが指定長より長い場合、数値を入れる項目に文字列が入っている場合エラーとなりますのでご注意ください。
- ③ ホスト名に使用できる文字は、大文字/小文字の区別はありません。
- ④ ホスト名に使用できる文字は、半角英数字と「-」(ハイフン)だけです。
ホスト名の最初と最後の文字は、半角英数字である必要があります。
「-」(ハイフン)は、最初と最後に利用できません。
例 ○ test-host × host-
- ⑤ CNAME(別名)でのラウンドロビンは利用できません。
例 host1 IN CNAME host2
host1 IN CNAME host3
- ⑥ CNAME(別名)で定義したホスト名をAレコードで利用することはできません。
例 host1 IN CNAME host2
host1 IN A 192.168.10.1
- ⑦ ホスト名にFQDNを記述する場合、必ず名前の後ろに「.(ドット)」をつけて下さい。
- ⑧ 1ゾーンファイルに記述できる行数は、サービス開始時は500行となります。

(3) チェック項目と制限事項

作成したゾーンファイルを登録する際に、チェックや制限がかかる項目があります。詳細は、「2-2-5. チェック項目と制限事項」をご覧ください。

2-2-4. ゾーンファイルのアップロード

(1) データ登録/変更

DNS機能 設定メニュー

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 22 16:32

- レコード編集 既存のレコードを追加・編集・削除します。
- アップロード** CSV形式で作成されたゾーンファイルをアップロードします。
- ダウンロード ゾーンファイルをCSV形式でダウンロードします。
- ロック解除 ファイル編集中にウィンドウ画面を閉じてしまう事で、上記の

①設定メニュー画面にて「アップロード」ボタンをクリックします。

DNS機能 ファイルアップロード

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 22 16:32

登録するゾーンファイルの選択をしてください。

ファイル名(必須) **参照**

- 次へ 登録及び変更内容を確認する画面へ移動します。
- キャンセル 編集をキャンセルして設定メニューに戻ります。

②登録するゾーンファイルを参照するため「参照」ボタンをクリックします。

③2-2-2. で作成したゾーンファイルを参照します。

④「開く」ボタンをクリックします。



DNS機能 ファイルアップロード

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 22 16:32

登録するゾーンファイルの選択をしてください。

ファイル名(必須) **参照**

- 次へ** 登録及び変更内容を確認する画面へ移動します。
- キャンセル 編集をキャンセルして設定メニューに戻ります。

⑤登録するゾーンファイルが参照され、表示されます。

⑥「次へ」ボタンをクリックします。

注意

- ・登録/変更するゾーンファイルは、2-2-1. でダウンロードしたファイル(csv形式)を編集したものをご利用ください。
- ・ゾーンファイルを登録する際に、2-2-5. のチェック項目と制限事項のチェックを行っております。エラーメッセージが表示された場合、前ページのレコード記述上の注意を再度ご確認ください。
- ・Excelで編集する場合は必ず「ファイルの種類」を「CSV(カンマ区切り)(*.*csv)」にして保存してください。

2-2-5. チェック項目と制限事項

ゾーンファイルをコントロールパネル登録する際に、以下の項目のチェックを行います。

チェック項目	チェック内容	制限値
ゾーンファイルの行数	・記述できるゾーンファイルの行数	500行まで
対応するTYPE(レコード)	・SOA、NS、A、CNAME、MX、TXT、SRV、AAAA、A6	
ゾーンファイル先頭でのTTL設定	・\$TTLがあること ・TTL値が許容される最小～最大値の範囲内であること	$300 \leq \text{TTL} \leq 604800$
各リソースレコードのTTL値	・最小～最大値の範囲内であること	$300 \leq \text{TTL} \leq 604800$
SOALレコードの項目値 下記以外	・SOALレコードがあること ・ネームサーバ名があること ・管理者アドレスがあること(お客様アドレス推奨) ・‘(’があること ・‘)’があること	
Serial	・SERIAL値があること ・最大値以下であること ・シリアル番号が増加していること	$\text{Serial} \leq 4,294,967,295$
refresh	・REFRESH値があること ・最小～最大値の範囲内であること	$60 \leq \text{refresh} \leq 604,800$ (1週間)
retry	・RETRY値があること ・最小～最大値の範囲内であること	$60 \leq \text{retry} \leq 3,600$ (1時間)
expire	・EXPIRE値があること ・最小～最大値の範囲内であること	$3,600 \leq \text{expire} \leq 2,592,000$ (30日)
minimum	・MINIMUM値があること ・最小～最大値の範囲内であること	$300 \leq \text{minimum} \leq 604,800$
NSレコード	・ホスト名があること	
Aレコード	・Aレコードのアドレスがあること ・アドレス表記が正しいこと	
CNAMEレコード	・ホスト名があること	
MXレコード	・preference及びserverがあること ・preferenceが数字であること	
TXTレコード	・テキストの文字数	255文字まで
SRVレコード	・priority、weight、port及びtargetがあること ・priority、weight及びportが数字であること	
AAAAレコード	・AAAAレコードのアドレスがあること	
A6レコード	・prefix length及びaddressがあること ・prefix lengthが数字であること	
文字	・全角文字でないこと ・「 ” 」、「 「 」、「 」 」、「 & 」、「 、 」や「 改行 」を含まないこと	
アップロードファイルのサイズ	1MByteをこえないこと。	
構文チェック	ゾーンファイルの文法上の誤りの有無	

内は、特に気をつけていただきたい箇所となります。

2-3. コントロールパネル上でのレコード単位の編集

2-3-1. レコード編集画面起動

DNS機能 設定メニュー

ご利用状況

お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 21 16:06

1

レコード編集

画面上でレコードを追加・編集・削除します。

アップロード

CSV形式で作成されたゾーンファイルをアップロードします。

ダウンロード

ゾーンファイルをCSV形式でダウンロードします。

ロック解除

ファイル編集中にウィンドウ画面を閉じてしまう事で、上記の

①設定メニュー画面でレコード編集ボタンをクリックします。

DNS機能 レコード編集

ご利用状況

お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 21 18:02

2

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		86400
2			@	SOA	person root.CSRF.ad.jp.
3				serial	11
4				refresh	10800
5				retry	3600

②レコード編集画面が起動します。

2-3-2. レコード編集機能

(1) リソースレコードの追加

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		86400
2			@	SOA	person root.CSRF.ad.jp.
3				serial	11
4				refresh	10800
5				retry	3600
6				expire	604800
7				min ttl	86400

1

①レコード編集画面で行の追加欄にある ボタンをクリックします。

12		<input type="checkbox"/>		MX	preference server
13		<input type="checkbox"/>		NS	server

2

② ボタンのある行の下に空の行が追加されるのでType欄から追加したいレコード種別を選択します。

12		<input type="checkbox"/>		MX	preference server
----	--	--------------------------	--	----	-------------------

③②で選択したレコード種別に対応した項目が表示されるので入力してください。
入力が終了したら(5)レコード内容の確認および登録に進みます。



追加できるレコード種別は、NS、MX、A、CNAME、AAAA、TXT、SRV、A6 です。

(2) リソースレコードの編集

DNS機能 レコード編集

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 21 18:02

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		
2			@	SOA	person root.CSRF.ad.jp.
3				serial	11
4				refresh	10800
5				retry	3600

- ①編集可能な値には新しい値を入力するフィールドが表示されています。対象のフィールドに新しい値を入力したら、(4)レコード内容の確認および登録に進みます。



注意

編集できるレコード種別はSOA(一部不可)、NS、MX、A、CNAME、AAAA、TXT、SRV、A6 です。

(3) リソースレコードの削除

DNS機能 レコード編集

ご利用状況	
お客様ゾーン名	webap001.jp
最終更新日	May 21 18:02

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		86400
2			@	SOA	person root.CSRF.ad.jp.
3				serial	11
4				refresh	10800
5				retry	3600
6				expire	604800
7	+			min ttl	86400
9	+	<input type="checkbox"/>		NS	ttl server dn2s8-01.toc.

- ①削除可能なレコードには削除欄にチェックボックスが表示されます。対象のフィールドにチェックを入力したら、(4)レコード内容の確認および登録に進みます。



注意

編集できるレコード種別はNS、MX、A、CNAME、AAAA、TXT、SRV、A6 です。

2-4. コントロールパネル上の編集時の注意点

(1) serial値の設定について

SOAレコードのserial値は自動で設定されません。コントロールパネル上でゾーンファイルを編集する場合、お客様自身で編集時点の値より大きく設定する必要があります。値を変更せず登録ボタンを押下した場合エラーとなりますのでご注意ください。

(2) リソースレコードの追加行

リソースレコード行追加で追加される場所はゾーンファイルの末尾となります。また、空行を追加することはできません。

(3) コントロールパネルのロック

コントロールパネルをログアウトせずにブラウザの閉じるボタンを使用した場合などにコントロールパネルにロックがかかり、編集処理が行えなくなることがあります。ロックがかかった場合には設定メニュー画面の「ロック解除」ボタンをクリックしてロックを解除してください。

(4) Name欄の値の省略について

Name欄の値が省略可能なレコード種別にて欄の入力を省略した場合、1つ上のレコードの値が入力されたものとみなされます。ただし、1つ上のレコード種別がCNAMEである場合、エラーとなりますのでご注意ください。

(5) 最終更新日の表記について

コントロールパネルで表示される最終更新日は、最終更新日から1年以上経過している場合「月 日 年」、1年未満の場合「月 日 時刻」と表示されます。

(6) 関連するサイトのURLについて

DNSに関する参考サイトを以下に記載いたしますので、ご参照ください。

【CNAME(別名定義)をお使いの場合、設定にご注意ください】

URL: http://www.ocn.ne.jp/business/customer/set_up/dns_12.html